

「尚徳」11月号 第602号 令和4年11月28日

鳥取大学附属小学校 学校便り

<https://sho.fuzoku.tottori-u.ac.jp/>



題字「尚徳」は、住川英明 地域学部教授 (元校長)

子は親の鏡、親は子の鑑

副校長 葉狩 学

新型コロナウイルス感染症は、鳥取県東部地区において高い水準で推移したまま上昇傾向にあり、第8波に入りました。基本的な感染対策の徹底を図り、年末を控えこれ以上の感染拡大を防ぐ必要があります。

さて、本校の感染状況が比較的落ち着いていた11月初旬に全校一斉造形遊びを行いました。校舎全体を使って全校一斉に造形遊びに取り組むことを通して、材料や場所などから自由に試したり、つくったりしながら発想を広げ、創造活動の楽しさを味わいました。また、友達の作品と組み合わせたり、一緒に活動したりすることで、少人数ではできないダイナミックな創造活動の楽しさも味わっていました。子供たちの創造力に満ちた活気あふれる姿から、学校全体が幸せな時間と空間に包まれる一時となりました。

もう一つうれしい話題をお伝えします。先日、一般住民から小学生に関わる一本の電話がありました。何か苦情かお叱りのようなものかと思いつつ話を聞いたところ、児童の善行についての連絡でした。内容は次のようです。

(一部加筆修正)

布勢線のバスの中で優先席に座っていた私（ヘルプマークを付けておられる電話をかけてこられた本人）が、乗車してこられたおばあさんに席を譲ったところ、それを見ていた附属小学校6年生の男子2人組が、席を譲った私に、自分たちの席に座るようにと申し出てくれました。私が断るも小学生は、「手の甲を骨折しているから大変だ。」と伝え、座るように言ってくれました。（私は手の甲を骨折していたとのこと）

この行動にバスの中が温かい雰囲気になったことと、感謝の気持ちを伝えてくださいました。確認したところ席を譲ったのは間違いなく本校6年男子児童の2人であったことが分かりました。早速、この善行を本校職員に伝えるとともに、全学級にも伝えてもらいました。学校外で当たり前のごとく席を譲った児童の判断と咄嗟の行動に心打られました。日頃の家庭教育によるところは言うまでもなく、自らの考えと意思で誰に言われるでもなく行動ができた6年生の姿を思うと、その時の情景が目には浮かび自分ごとのようにうれしくなりました。

本校では昨年度より特別活動の視点を大切に「自分たちの学校は自分たちでつくる。」ことを目指しています。私が以前お世話になったことのある特別活動の第一人者前文部科学省視学官 國學院大學 杉田 洋教授は、著書『特別活動で日本の教育が変わる！』の中で次のように述べています。

- ・自己実現は、「なりたい自分を目指し、自分らしく生きること」
- ・社会参画は、「集団や社会の形成者としての役割を果たしながら生きること」
- ・人間形成は、「違いや多様性を超えて、多様な人々と共に生きること」

と表して、これらを人間としての生き方の三原則として説明しています。これからの共生社会の担い手である子供たちの行いや考え方から、私たち大人である教師や親もおおいに学ぶべきことがあるのではないのでしょうか。

子供は「親の背中を見て育つ」のです。「子は親の鏡、親は子の鑑」（美輪明宏）

濱尾先生が退職されました

図書館司書の濱尾佳小吏先生がこの度退職されました。図書館の業務をする傍ら、子供たちにたくさん話しかけてくださり、気持ちのよい雰囲気を作ってくださいました。



濱尾先生より

図書館司書として勤めた2年半という時間の中で、みなさんと本を通じてたくさん話ができ、とても楽しかったです。本は、みなさんに知らない世界を見せてくれる『窓』のようなものだと思います。窓の数が多ければ多いほど、見える世界は増えていきます。見える世界が増えれば増えるほど、みなさんの可能性は広がります。みなさんにはこれからも多くの本と出会い、自分の世界や可能性を広げてほしいです。今まで本当にありがとうございました。

学校の様子

*** 委員会活動 ***

10月に体育委員会で風船バレーボール大会を企画し、昼休憩にたくさんの子供たちに参加してもらいました。このようなゲームを通して、体を動かす楽しさを少しでも広げてくれたのではないかと思います。また、大会に向けてコートづくりをしたり、放送で参加を呼び掛けたりして、自分たちで考えて活動をしました。

11月には、園芸委員会が中庭の花壇を整備していました。子供たちのアイデアでレンガを並べて仕切りを設けることにしたようです。委員会で工夫を凝らした花壇ができました。現在は花の種をまいて、来春にはきれいな花が咲くのを楽しみにしています。



*** 全校一斉造形遊び ***

11月10日に全校一斉造形遊びを行いました。これは、図工の「造形遊び」の学習を全校が一斉に行うもので、学年ごとに学習内容を決めて取り組みます。全校が一度に行うので、その時間は校内の色々なところが華やかになり、造形遊びをしていてもそれを見ているともとても楽しくなる活動です。各学年で、次のような造形遊びをしました。

「いっぱいかって なにしよう」
紙コップを並べたり積み重ねたりする活動を通して、思い付いたことを表現しました。



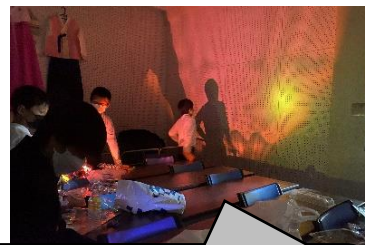
「しんぶんしとなかよし」
新聞紙の大きさや感触を全身で味わい、新聞紙の使い方を工夫しながら思い付いた活動を楽しみました。



「ひもひもワールド」
ひものつなぎ方や色を工夫してひもをつないでいき、できた形や空間を楽しみました。



「ここをつつんだら」
カラフルな袋を使って、包む物や包み方を工夫して変わっていく形の感じを楽しみました。



「光と場所のハーモニー」
透明素材とライトが織りなす色とりどりの模様を工夫して作り、美しい空間を楽しみました。



「ここを变身させて」
校舎内を、場所や遠近の特徴を生かして、見る人が楽しくなるような空間になるように工夫して飾り付けました。

*** 欠席・遅刻連絡、配付文書等のICT活用について ***

年度当初の文書でもお知らせしていますが、欠席・遅刻の連絡に、Google フォームを利用しています。電話での連絡も可能ですが、よろしければGoogle フォームをご活用ください。

Google フォーム「欠席・遅刻連絡」URL <https://forms.gle/fZKgomXcQ8dUtJt7>



欠席・遅刻連絡
QRコード



Google ドライブ
QRコード

また、学校からの配付文書は、お子さんが持ち帰る方法に合わせて、①保護者用 Google アカウントのGメールでの送信 ②Google ドライブへの保存(Google ドライブで文書を閲覧するには、Google 保護者アカウントへのログインが必要です) も行っています。ぜひこちらをご活用いただきますようよろしくお願いいたします。

Google ドライブ「保護者配付文書」閲覧URL

https://drive.google.com/drive/folders/10VANzIK98Y0un43u0WwH8apPGMhXLHCO?usp=share_link

オンライン研究発表大会



(研究授業動画公開)

10月22日(土)から10月28日(金)までの7日間、オンラインでの研究授業動画の公開を行いました。一昨年度より3年連続でオンラインでの実施になりました。本年度の研究主題に興味をもつていただき、研究発表大会への申込の人数は100名を大きく超えました。本校の研究を広く多くの皆様に知っていただくよい機会となりました。特に県外から参加申込された方が多く、全国各地から多数の参加をいただきました。

オンラインによる事前の研究授業動画公開と当日のオンライン分科会による意見交換では、すべての提案授業動画を繰り返し視聴していただくことができ、分科会では教科・領域ごとの授業者の考えを直接分かりやすく伝えることができたと考えています。新型コロナウイルス感染症の影響で本年度もオンラインでの開催となりましたが、本校の研究にとっては実りの多い発表大会となりました。

(全体会・分科会・講演会)

10月28日(金)にオンラインによる研究発表大会の全体会・分科会・講演会を行いました。本年度は「個別最適な学びが、未来の知への探究心を高める」を研究主題に進めた授業づくりを発表しました。全体会では、学校長あいさつと本校研究の概要説明を行いました。今年度は個別最適な学びに焦点を当てて授業づくりに取り組んだことや、特に「学習の個性化」について具体的な姿を明らかにしていくことなどを説明しました。

教科・領域ごとの分科会では、本年度はリアルタイムで参加者の皆さんと情報交換を行うことができました。全国の先生方から直接ご感想やご質問を寄せていただき、協議が大変深まっているようでした。公開された研究授業案や研究授業動画を事前に見ていただき、それぞれの教

科・領域のテーマや学校全体の研究に関わる事柄についてもご意見をいただきました。授業動画の公開期間が一週間のみにもかかわらず、時間を割いて本校の研究について考えていただいたことに心より感謝を申し上げます。

講演会では、放送大学教授の中川一史先生に「個別最適な学びと、協動的な学びの一体的な充実と ICT 活用」という演題で話をいただきました。講演の中で本校の公開授業にも触れながら、今後の授業における個別最適な学びと協動的な学びにおける ICT 活用の可能性について提案をいただきました。参加者の皆様に、個別最適な学びや ICT 活用について具体的な授業イメージをもっていただくよい機会になったと思います。

オンライン研究発表大会終了後には、中川先生より本校職員に向けて個別最適な学びを実現するための ICT 活用について熱いメッセージが語られました。また、職員からの質問に対して丁寧に答えていただきました。



《公開授業動画 理科
【プログラミング教育】》



《公開授業動画 外国語科》

